



【柳亭種彦『近世怪談霜夜星』（文化5年（1808）刊）挿絵よりお沢（お岩）の亡霊。画師は葛飾北斎。個人蔵。】

講師より

「読本」を知らなくても、秋成の傑作『雨月物語』や、馬琴の代表作『南総里見八犬伝』をご存知の方は多いのではないのでしょうか。

今回は、江戸時代の後半に出版された波瀾万丈の勧善懲悪小説＝「読本」の流れを辿りながら、その魅力と価値についてお話いたします。

また、私の勤務先国文学研究資料館（国文研）の所蔵本などの画像を通じて、初刷り原本の美しさを堪能していただければと思います。

2011年6月25日(土)

午後2時～午後4時

湘南国際村センター第2研修室

参加費：650円（高校生以下無料）

ソフトドリンク・お菓子セット付き

定員：40名（先着順）

後援：葉山町

応募受付期間：5月17日(火)～6月3日(金)

お申込み・お問い合わせ：

(財)かながわ国際交流財団湘南国際村学術研究センター 小松

Email：academia@kif.ac

TEL：046-855-1822 FAX：046-858-1210

読本

江戸 伝奇小説の世界



講師

大高 洋司

総合研究大学院大学 教授
国文学研究資料館 教授

【プロフィール（おおたか ようじ）】

慶應義塾大学大学院修了。博士（文学）。
主な研究分野は日本近世小説。2009年2月、
代表をつとめた国文研プロジェクト研究の成果
として『読本事典 江戸の伝奇小説』を刊行。

湘南国際村センター 交通案内



【タクシーをご利用の場合】

JR 逗子駅前タクシー乗り場より湘南国際村センターまで約 15 分、料金約 2,800 円。

【交通案内HP】

<http://www.shonan-village.co.jp/access.html>

【バスをご利用の場合】

① 逗子駅発 湘南国際村行きのバス

JR 逗子駅前1番乗り場より16系統「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。所要時間約30分、料金340円。(JR 逗子駅発車後2〜3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車。) 開始時間にちょうどよいバスは、**12:53 発** です。

② 汐入駅発 湘南国際村行きのバス

京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。所要時間約30分、料金370円。 開始時間にちょうどよいバスは、**12:47 発** です。

※その他、11:21 逗子駅発・11:07 汐入駅発 の便があります。



(財)かながわ国際交流財団・湘南国際村学術研究センター

FAX: 046-858-1210

E-MAIL: academia@kif.ac

- 下記申込書をファックスでお送りください。同じ内容を E-MAIL でお送りいただいても結構です。
- 先着順にて受付(募集: 40 名)。応募受付期間は **5 月 17 日(火)から 6 月 3 日(金)** です。
- お申込み後のキャンセルはお早めにご連絡ください。
- 参加費(650 円、高校生以下無料)は、当日受付にてお支払いください。
- お電話でのお問い合わせは、**TEL: 046-855-1822**(担当: 小松)までお願いいたします。

湘南国際村アカデミア／サイエンス・カフェ 「読本―江戸伝奇小説の世界」 参加申込書

ふりがな			
氏 名			
住 所	(〒)		
電話・FAX	電 話 ()	FAX ()	
E メール	E メール		
	高校生以下(高校生含む)の方は、右の□に✓してください。 □ 高校生以下		
この催しを知ったきっかけ[ちらしの入手先など]:			

※お送りいただいた個人情報は(財)かながわ国際交流財団及び総合研究大学院大学が取り扱い、第三者には提供いたしません。今後、イベント等のご案内をさせていただきます場合がございます。